

第六次子どもプラン武蔵野における基本理念・基本的な考え方について

1 計画における基本理念・基本的な考え方の位置づけ

第六次子どもプラン武蔵野の「基本理念」及び「基本的な考え方」の位置づけについては、第五次子どもプラン武蔵野を踏襲するものとする。

計画の目指す方向性を示すものとして「基本理念」を定め、基本理念を実現するため5つの「基本的な考え方」を設ける。

【第五次子どもプラン武蔵野 計画の構成】

○第五次子どもプラン武蔵野

第1章 計画策定の主旨（計画の位置付け、計画の推進体制、点検・評価等）

第2章 計画の基本理念と基本的な考え方

第3章 子どもプランの実績と市の子ども・子育て家庭の現状

第4章 子ども・子育て支援に関する施策の具体的な展開

別 表 計画期間における目標事業量

施策の体系図

2 基本理念・基本的な考え方

(1) 基本理念

第六次子どもプラン武蔵野における「基本理念」については、令和5年4月に施行された『武蔵野市子どもの権利条例』の趣旨を踏まえ、第六期長期計画・調整計画と整合を図りながら、こども基本法、子ども・若者育成支援推進法に示される、新たな視点を加えたものとする。

第六次子どもプラン武蔵野における論点及び推進地域協議会における各委員の意見を基に、別紙のとおり基本理念（案）を示す。

(2) 基本的な考え方

第六次子どもプラン武蔵野における「基本的な考え方」は、『第六期長期計画』における「施策の大綱（第2子ども・教育）」を引き続き位置付けるものとする。

【基本的な考え方（=基本施策）】

- ① 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり
- ② 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援
- ③ 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実
- ④ 子どもの「生きる力」を育む
- ⑤ 教育環境の充実と学校施設の整備